

令和8年第2回（3月）定例会一般質問通告一覧表

令和8年3月18日（水）

番号	氏名	質問事項
1	2番議員 堤 弘行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リチウムイオン電池等の処分について</li> <li>・電子投票の実施について</li> </ul>
2	13番議員 橋本 守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行費の無償化について</li> <li>・「てぶくろマラソン」の開催について</li> </ul>
3	11番議員 大田 稔子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災力について</li> <li>・補聴器購入支援について</li> <li>・稼ぐまちづくりについて</li> </ul>
4	1番議員 小松 千樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住促進につながる空き家対策について</li> <li>・観光資源の稼ぐ力と広域連携の推進について</li> </ul>
5	15番議員 東本 政行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長による市政懇談会の開催について</li> <li>・旧白鳥温泉での花見をしやすいするために</li> <li>・人口減少社会について</li> <li>・中学校の給食費無償化について</li> <li>・「非核平和都市宣言」に関係して</li> </ul>
6	8番議員 工藤 潔香	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食費の無償化について</li> </ul>
7	5番議員 久米 潤子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急搬送体制における市の対応について</li> <li>・公共施設における合理的配慮について</li> <li>・参加型シティプロモーションについて</li> </ul>
8	12番議員 田中 貞男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有地等の刈草処理について</li> <li>・都市計画マスタープランについて</li> <li>・原材料支給補助金について</li> <li>・小中学校の標準服を市内の企業で</li> </ul>
9	10番議員 山口 大輔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの夢実現事業の実態と企業との連携提案について</li> <li>・中山間・人口減少地域における介護サービス特例対応の実現について</li> <li>・滞在人口の増加につながる空き家利活用を含む事業の実現について</li> </ul>
10	16番議員 大藪 雅史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化の推進について</li> <li>・「稼ぐまちづくり」について</li> </ul>



受領 令和 8 年 3 月 2 日 午後 4 時 43 分

令和 8 年 3 月 2 日

東かがわ市議会議長  
工 藤 正 和 殿

東かがわ市議会議員 堤 弘行



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
(1)リチウムイオン電池等の処分について	<p>リチウムイオン電池等は、処分方法を誤ると発煙・発火事故など重大な事故につながる危険性があるため、市民への周知と安全な回収体制の整備が極めて重要です。</p> <p>また、令和 7 年 4 月 15 日付けで環境省から「市町村におけるリチウム蓄電池等の適正処理に関する方針と対策について」の通知が発出されています。</p> <p>これを踏まえて、次の 3 点を質問致します。</p> <p>(1) 回収時におけるリチウムイオン電池等が原因と思われる発煙・発火事故の本市の状況について。</p> <p>(2) 本市でのリチウムイオン電池等の回収体制・方法について。</p> <p>(3) 環境省の通知を踏まえた今後の本市の対応や課題は。</p>	市長
(2)電子投票の実施について	<p>現在、デジタル技術の進展により、行政手続きや各種サービスのオンライン化が進む中、選挙においても、電子投票の活用が一つの選択肢として議論されています。報道によると県内では、善通寺市が電子投票を実施する方針を固めたと発表されています。</p> <p>これを踏まえて、次の 2 点を質問致します。</p> <p>(1) 他自治体での実施事例や課題について、本市の調査研究の現状は。</p> <p>(2) 電子投票についての本市の見解、及び、今後の実施の方向性について。</p>	選挙管理委員会委員長



受領 令和 8 年 3 月 4 日 午後 4 時 30 分

令和 8 年 3 月 4 日

東かがわ市議会議長  
工 藤 正 和 殿

東かがわ市議会議員 橋 本 守



### 一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
修学旅行費の無償化について	<p>修学旅行は、学習指導要領に記載されている教育活動の一環であるが、全国的な物価高騰の中で、修学旅行に参加するための保護者の費用負担も決して少なくなく、経済的理由で修学旅行に行けない児童生徒もいるのではと考える。</p> <p>そこで、本市の修学旅行に関して、以下 4 点について伺う。</p> <p>①修学旅行の目的と児童生徒の参加状況について ②保護者の費用負担の考え方と負担金額について ③修学旅行の成果と課題について ④近隣では、徳島県鳴門市が令和 8 年度から修学旅行に係る経費の保護者負担をゼロにする方針を打ち出したとの報道があった。本市においても、修学旅行費の無償化について積極的に取り組むべきと考えるがどうか。</p>	教育長
「てぶくろマラソン」の開催について	<p>マラソンは、いまや市民生活の一部へと変化しており、健康志向の高まりもあって、アマチュアランナーをはじめファミリー層にも親しまれる、気軽に体験できるスポーツである。また、大会を開催することで経済効果や地域活性化にもつながることが期待される。</p> <p>本市においても、市単独又は近隣市町との協力による広域的な視点で、東讃の魅力発信や地域経済の活性化につながる「てぶくろマラソン」を開催してはと考えるがどうか。</p>	市 長 教育長



受領 令和 8 年 3 月 4 日 午後 4 時 31 分

令和 8 年 3 月 4 日

東かがわ市議会議長

工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員

大田 稔子



### 一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
地域防災力について	近年、地震や豪雨など自然災害が頻発している。また、南海トラフ巨大地震に備えるためにも地域防災力の強化が急務である。そこで、過去に本市で実施した防災士養成講座を改めて実施してはどうか。	市長
補聴器購入支援について	報道によると、香川県では、加齢性難聴者への補聴器購入支援として上限3万円の補助金が令和8年度当初予算に計上されている。これは認知症予防の観点からも非常に意義深い取組である。本市も県の補助金に上乘せして補助するなど、補聴器購入支援を推進してはどうか。	市長
稼ぐまちづくりについて	報道によると、本市は、市観光協会を機能強化・拡張する形で、地域マネジメント法人(仮称)を立ち上げ、観光事業や地域商社としての役割も担う「稼ぐまちづくり」を推進しようとしている。そこで、以下について伺う。 1. 「稼ぐまちづくり」につなげるための物販拠点を含む施設整備について、今後の調査・検討方法と展開を伺う。 2. 市長が掲げる「稼ぐまちづくり」の観点から、企業誘致に向けた土地の確保、地域資源を活かした産業の育成や雇用創出について、どのように考えているか。	市長



受領 令和8年3月 4日 午後 4時 32分

令和8年3月 4日

東かがわ市議会議長  
工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 小松 千樹



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
移住定住促進につながる空き家対策について	<p>本市では、防災、衛生、景観の観点からも、増加する空き家の対策が喫緊の課題である。一方で、移住希望者が最も重視するのは住まいの確保であり、移住定住促進のためにも、空き家対策は重要と考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1、空き家バンクの本市の登録件数及び成約件数の過去3年間の推移について。</li><li>2、移住定住促進につながる本市の空き家対策の現状は。</li><li>3、空き家バンクへの登録を躊躇する要因として、家財道具の片付けが大きなハードルとなっているケースが多いと聞く。これに対する家財道具等の処分費用への補助金の創設について。</li></ol>	市長
観光資源の稼ぐ力と広域連携の推進について	<p>本市は引田のまち並み、しろとり動物園や手袋産業など、すばらしい資源があるが、現在は日帰り、短時間での観光が中心で、滞在時間や客単価の低さが課題である。これらの観光資源の稼ぐ力を強化する以下の具体策について見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1、滞在時間、客単価を上げるために、民間事業者と連携し、手袋産業や和三盆など、地場産業の体験型観光メニューを強化しては。</li><li>2、大塚国際美術館や四国霊場を訪れる観光客を本市へ誘客するためにも、本市の観光資源を結び付けた広域的な周遊ルートの開発をしては。</li></ol>	市長



受領 令和 8 年 3 月 4 日 午後 4 時 33 分

令和 8 年 3 月 4 日

東かがわ市議会議長

工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 東本 政行



## 一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
1、市長による市政懇談会の開催について	現在、市長が市民から直接意見を聞く市政懇談会は開催されていない。市民の声を直接聞き市政に反映させるために、市長による市政懇談会の開催を検討すべきと思うがどうか。	市長
2、旧白鳥温泉での花見をしやすくするために	旧白鳥温泉は、泉質はもちろんのこと付近の桜も魅力があり、東讃地域有数の花見の名所になっている。花見の名所にふさわしい環境にするために、テーブルとイスを常設してはどうか。	市長
3、人口減少社会について	人口減少社会の問題にどう対応するかは、本市が直面している重要な課題である。人口減少社会への対応は、一人一人の人権と個性が尊重され、真に住みよい社会にしていく不断の努力を積み重ねることが根本にあるべきと考える。 ① 人口減少社会に対して市長の見解はどうか。 ② 本市の人口減少傾向に対しての危機意識は。また、減少傾向を食い止めるための取組や見解はどうか。	市長
4、中学校の給食費無償化について	報道によると、さぬき市は来年度から独自に公立中学校の給食費無償化を実施することである。子育て支援として、本市も中学校の給食費無償化について実施を検討してはどうか。	教育長
5、「非核平和都市宣言」に関係して	平成17年に市議会が「非核平和都市宣言」を決議して以来、市と議会において、世界の恒久平和の実現を目指すための取組を行ってきた。しかしながら、今、国において、日本の核兵器保有発言や非核三原則の見直しの声が出ている。	市長

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
	<p>① 「非核平和都市宣言」の趣旨に反するこの動きに対して、抗議の意思を示してはどうか。</p> <p>② 現在設置している垂れ幕に加えて、宣言全文を表示した記念碑を本庁舎前に設置してはどうか。</p>	



令和 8 年 3 月 4 日 午後 4 時 34 分

令和 8 年 3 月 4 日

東かがわ市議会議長  
工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 工藤 潔香



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
給食費の無償化について	<p>国は 2026 年度から、保護者負担となっている学校給食の抜本的な負担軽減を図るため、所得制限なしで公立小学校の児童 1 人あたり月額 5,200 円を上限に支援する、いわゆる「給食無償化」を実施します。この措置により、家計の負担が軽減され、特に多子世帯にとって経済的なメリットが大きいとされています。</p> <p>そこで、本市の 2026 年度からの給食費の保護者負担について、具体的にどのようなようになるのか伺います。</p>	教育長



受領 令和8年3月6日 午前 9時 /2分

令和8年3月6日

東かがわ市議会議長  
工藤正和 殿

東かがわ市議会議員 久米潤子 

### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
救急搬送体制における市の対応について	119番通報すると救急隊が速やかに駆けつけ、丁寧な対応をしてくれる一方で、搬送先が長時間決まらないとの声が市民から寄せられている。市としての課題認識と今後の取組を伺う。 (1)搬送時間が長時間となる要因は。また、その要因をどのように分析しているか。 (2)本市が主体的に対策を講じる考えはあるか。	市長
公共施設における合理的配慮について	障害者差別解消法を踏まえ、本市の公共施設において誰もが安全・快適に利用できる環境整備(合理的配慮)の推進が必要と考える。そこで以下について、現状と今後の取組を伺う。 (1)讚州井筒屋敷における車椅子・ベビーカーに配慮した通路及びトイレ環境整備と、イベント観覧時の「優先エリア」の設置について (2)讚州井筒屋敷における敷地内禁煙の推進について (3)市内の公共施設における「エレベーター内防災チェア」の設置について	市長
参加型シテイプロモーションについて	若い世代に評価されるまちづくりにつなげるため、参加型シテイプロモーションとして、他自治体の事例を参考に、とらまる公園をはじめとする公共施設へ「てぶくろマン」の身長パネル等を設置するなど、親子が楽しみながら撮影・SNS発信を行える市民参加型の魅力発信を行ってはどうか。	市長 教育長



受領 令和 8 年 3 月 6 日 午後 0 時 50 分

令和 8 年 3 月 6 日

東かがわ市議会議長  
工 藤 正 和 殿

東かがわ市議会議員 田 中 貞 男



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
市有地等の刈草処理について	県内外において、刈草を堆肥化する取組を行っている自治体がある。そこで、本市の状況について以下の点を伺う。 1. 市有地等の刈草の処理はどのように行っているのか。 2. 年間で可燃ごみとして処理される刈草の量は。また、その処理費用は。 3. 刈草処理の現状をどのように考えているのか。また、今後の方針は。 4. 他自治体を参考に、本市も刈草の堆肥化に取り組んでは。	市 長
都市計画マスタープランについて	都市計画マスタープランは、本市の都市づくりの目標等を定め、まちづくりについて具体性のある将来像を確立し、本市が目指す「まち」の姿を示すものである。 そこで、以下の点について伺う。 1. 本計画の素案にあるシビックコアの実現のために、空き家対策や生活道路・狭あい道路等の整備に計画的に取り組む必要があると考えるが、今後の方向性について伺う。 2. 本計画は、令和 27 年度を長期目標年にしているが、5 年程度を一つの単位として目標を設定し、取り組んではと考えるがどうか。 3. 本計画の実現に向けた条例や規則を制定する考えは。	市 長
原材料支給補助金について	本補助金は、道路や水路などの修繕・改修に必要な原材料費に対して支給される。昨今の物価高騰により原材料が調達できず、工事が計画どおりに完了しないため、翌年度に残りの区間に着手することが多いと聞く。このような現状を踏まえ、補助金の上限を引き上げるなど制度を見直す考えはあるか。	市 長

<p>小中学校の標準服を市内の企業で</p>	<p>本市の手袋の縫製技術を活用して、市内の小中学校の標準服を作る企業が市内にあればと考える。市内の事業者に対し事業提案したり、設立や事業移行、設備投資に対して支援したりするなど、市として取組を行ってはと考えるが、市長の所見を伺う。</p>	<p>市長</p>
------------------------	--	-----------



受領 令和 8 年 3 月 6 日 午後 4 時 54 分

令和 8 年 3 月 6 日

東かがわ市議会議長

工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員

山口 大輔



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
子どもの夢実現事業の実態と企業との連携提案について	<p>子どもの夢実現事業は、児童・生徒の主体性を育み、地域や学校を活性化させる意義ある取組である。しかし、実施していない学校も存在している現状や、補助額の活用状況にばらつきが見られることから、制度の周知状況や校内での実施プロセス、支援体制について検証が必要と考える。そこで市長、教育長に伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 本事業はどのような流れで学校に周知されているのか。また企画立案・申請・採択に至るまでの流れは。</li><li>2. 全教員に対し、本事業の趣旨や目的まで丁寧に共有されているのか。また、周知方法と時期はどうなっているのか。</li><li>3. 本事業の実施にあたり、市は標準的な手順や指針を示しているか。</li><li>4. 学校ごとに進め方に差が生じていないか。一定の統一感を保つための仕組みはあるか。</li><li>5. 実施していない学校について、利用がなかった理由を市は把握しているのか。</li><li>6. 実施していない学校において、本事業の検討は行われたのか。検討がなされなかった場合、その理由は何か。</li><li>7. 申請に至らなかった要因を市はどのように分析しているか。</li><li>8. 本来、学校予算で検討・実施すべき内容が本事業で代替されている事例はないか。その検証は行っているか。</li><li>9. 補助額が上限に至らなかった理由、また上限まで活用した理由を把握しているか。それらを今後の制度改善の情報として整理しているか。</li><li>10. 児童・生徒や教員が「本事業があるから挑戦できる」と実感できるような周知や振り返りの仕組みは整備されているか。</li><li>11. 教員の負担が増大する場合、市が主体となる学校外事業として再設計する考えはあるか。また、企業等と連携し、子どもの夢を地域全体で支える仕組みを構築する考えはあるか。</li></ol>	市長 教育長

	<p>12. 本補助金を使用した事業については、補助を使って行なっているということを明記し、周知していくことで補助の目的と価値を高めることができると思うが実施してはどうか。</p>	
<p>中山間・人口減少地域における介護サービス特例対応の実現について</p>	<p>本市は香川県内で唯一、市全域が過疎地域に指定されており、人口減少と高齢化が進行する中で、介護サービスの維持は喫緊の課題である。現在、国においては令和9年度より中山間・人口減少地域を対象とした介護サービスの弾力運用等が検討されている。</p> <p>これを活用するためには、令和8年度策定予定の第10期介護保険事業計画への位置付けが不可欠であり、今から準備を進めなければ機会を逸する可能性がある。そこで市の方針と準備状況を市長に伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国が検討している制度の動向を市はどのように把握しているか。</li> <li>2. 第10期介護保険事業計画の策定スケジュール及び、計画策定に向けた検討体制は構築されているか。</li> <li>3. 市内の訪問・通所系介護事業所の人員充足状況と休廃止の現状はどうか。</li> <li>4. 市内の訪問・通所系介護サービスの提供困難地域の実態把握は行っているか。</li> <li>5. 当該制度を見据えた事業者ヒアリングを実施する考えはあるか。</li> <li>6. ICT活用の現状と今後の支援策はあるか。</li> <li>7. 人員配置基準の弾力化を活用する考えはあるか。</li> <li>8. 新たな報酬体系導入への検討状況はどうか。</li> </ol>	<p>市長</p>
<p>滞在人口の増加につながる空き家利活用を含む事業の実現について</p>	<p>引田ひなまつりでは、市外・県外の学生や社会人が地域に滞在し、住民と協力しながら準備や運営に関わる姿が見られた。こうした取組は、交流人口にとどまらず、関係人口や滞在人口の創出、本市の魅力発信にもつながると考える。一方で、滞在場所や作業場所の確保、費用負担などの課題もある。そこで市長に伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 空き家を活用し、滞在拠点や作業拠点として活用できる仕組みを構築できないか。</li> <li>2. 地域と外部人材が協働して取り組む活動を後押しするため、シティプロモーションを兼ねた支援制度を創設する考えはないか。</li> </ol>	<p>市長</p>



令和 8 年 3 月 9 日 午後 3 時 19 分

令和 8 年 3 月 9 日

東かがわ市議会議長  
工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 大藪雅史



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
デジタル化の推進について	<p>市民へのサービスの向上や行政内の仕事の合理化のためにデジタル化を推進することは重要である。しかし、どこまでをデジタル化するかは個人の自由であり、そのことで不利益になるような政策はすべきではないと考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>東かがわ Pay のプレミアム付デジタル商品券事業について、スマートフォンを使用しない人にも同等のサービスが提供できる仕組みが必要と考えるがどうか。 また、一部の人に高額プレミアムを付けてデジタル化を推進するような施策の妥当性について、市長の考えは。</li><li>ボランティア活動等に対して付与されるポイントについて、他自治体では紙のポイントカードも発行しているところもあると聞く。デジタル地域ポイントの補完策として、本市で取り入れる考えは。</li></ol>	市長
「稼ぐまちづくり」について	<p>「稼ぐまちづくり」というが、具体的に何をもって稼げるとするのか分かりにくい。今後、稼ぐまちをどこまで形づくるつもりか、また、そのビジョンについて、市長の考えは。</p>	市長

令和8年第2回(3月)定例会一般質問通告一覧表

令和8年3月19日(木)

番号	氏名	質問事項
1	7番議員 田中 久司	・耐震化率向上に向けた取組について
2	3番議員 淀 紀清	・東かがわP a yの若年層に対する利用促進について ・移住者支援と既存住民への支援とのバランスについて ・多様な事情や不安に寄り添う温浴施設の在り方について
3	9番議員 宮脇 美智子	・外国籍住民・外国人労働者の受入れに関わる現状と課題について
4	4番議員 安倍 正典	・行政運営全般について ・「稼ぐまちづくり」について ・自治会活動助成金について
5	14番議員 渡邊 堅次	・次回の瀬戸内国際芸術祭に向けた取組について ・公用車への市名と広告の掲載について



令和 8 年 3 月 9 日 午後 3 時 20 分

令和 8 年 3 月 9 日

東かがわ市議会議長  
工藤正和殿

東かがわ市議会議員 田中久司



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
耐震化率向上に向けた取組について	<p>報道によると、能登半島地震を教訓に、県は旧耐震基準の住宅が多い地域を「耐震化重点エリア」に設定し、耐震対策の必要性について戸別訪問を実施してきた。</p> <p>このように巨大地震に対する減災の必要性が益々高まっている現状を踏まえ、「東かがわ市建築物耐震改修促進計画」の進捗状況及び今後の取組等について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 県が設定した耐震化重点エリアに本市は含まれているか。含まれている場合、その該当エリア内の戸別訪問数及び、今後の見通しはどうか。</li><li>2. 本計画中、<ol style="list-style-type: none"><li>①「住宅」の区分について、耐震化率の目標達成への見通しはどうか。また、耐震化率の算定根拠は。</li><li>②「防災上重要な市有建築物」の区分について、耐震化未着手の建築物は何か。</li><li>③自治会館・集会所は、「住宅」「多数の者が利用する建築物」「防災上重要な市有建築物」のどの区分に入るのか。</li></ol></li><li>3. 本計画期間は令和 7 年度までとあるが、令和 8 年度以降についてはどのように考えているか。</li><li>4. 県は先月末、令和 8 年度から住宅耐震診断費用に対する補助の拡充を発表したが、その制度変更について本市はどのように連携するのか。</li><li>5. 耐震化率向上に向け、出前講座、制度の周知説明会やイベントの実施、自主防災組織等との連携などについて、今後さらに積極的に取り組む考えはあるか。</li></ol>	市長



令和 8 年 3 月 9 日 午後 4 時 20 分

令和 8 年 3 月 9 日

東かがわ市議会議長  
工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 淀 紀清



## 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
東かがわPayの若年層に対する利用促進について	<p>東かがわPayは、市内消費の活性化に一定の役割を果たしている。一方で、利用者層に偏りが見られ、特に将来の地域経済を担う若年層の利用率が低いとのことである。持続可能な地域通貨として発展させるためには、利用状況の的確な分析と、若年層のニーズを踏まえた戦略的な改善が不可欠であると考え、以下5点を伺う。</p> <p>(1) 若年層の利用が伸び悩んでいる要因をどのように分析しているか。</p> <p>(2) 若年層のライフスタイルに合致した業種・店舗への重点的な加盟促進を行う考えはあるか。</p> <p>(3) 既存のキャッシュレス決済サービスとの差別化を図るために、独自の付加価値をどのように構築していくのか。また、地域通貨としての強みをどう明確化するか。</p> <p>(4) チャージ方法の多様化（銀行口座連携、クレジットカード対応等）や、アプリの操作性向上に向けたアップデートの予定はあるか。</p> <p>(5) 高校生や若手起業家等と連携し、若者が使いたくなる機能やキャンペーンを企画する官民学連携の仕組みを構築してみてもどうか。</p>	市長
移住者支援と既存住民への支援とのバランスについて	<p>移住・定住促進施策が進む一方、先日の議会報告会にて「長年住み続けている住民への評価や還元が見えにくい」との声もあった。そこで、以下2点を伺う。</p> <p>(1) 移住者支援と既存住民への支援との公平性（バランス）について市はどのように捉えているか。</p> <p>(2) 一定年数以上居住している住民に対する優遇的な制度や地域貢献を可視化する制度など、「住み続けていること」への評価を制度設計する考えはあるか。</p>	市長

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
<p>多様な事情や不安に寄り添う温浴施設の在り方について</p>	<p>乳がん等の手術痕や身体的特徴を抱える方の中には、他者の視線への不安から温浴施設の利用を躊躇する方がいる。また近年は、ルッキズムへの抵抗感やプライバシー意識の高まりにより、「裸を見られたくない」という心理的ハードルを感じる市民も少なくはないと考える。多様な事情に配慮し、誰もが安心して利用できる温浴施設の在り方について、以下3点を伺う。</p> <p>(1) 市内公共温浴施設において湯あみ着等の着用を導入する考えはあるか。また、導入する場合、周知を行う考えはあるか。</p> <p>(2) 特定の日時・エリアにおける水着の着用など、多様なニーズに対応する柔軟な運用を検討する考えはあるか。</p> <p>(3) 上記2点それぞれについて、市所有以外の市内温浴施設の事業者に対して、市から働きかける考えはあるか。</p>	<p>市長</p>



受領 令和 8年 3月 10日 午前 9時 48分

令和8年3月10日

東かがわ市議会議長  
工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 宮脇 美智子



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
外国籍住民・外国人労働者の受入れに関わる現状と課題について	<p>技能実習制度や特定技能制度の拡充により、多くの外国籍住民が地域の産業や経済を支える存在となっている。今後、本市の行政運営にどのような影響をもたらすのか十分に検証していく必要があると考え、以下の点について伺う。</p> <p>①(ア)本市の外国籍住民の人数と割合の推移(過去5年間)について、(イ)在留資格別の人数と推移について、(ウ)技能実習、特定技能の職種の現状について、それぞれ把握しているか。把握している場合はその内容について。</p> <p>②不法滞在や不法就労の状況について把握しているか。把握している場合はその内容について。また、居住実態や在留資格を市はどこまで把握しているか。</p> <p>③技能実習、特定技能、技術・人文知識・国際業務等、雇用を前提とする在留資格で就労している外国籍住民についての厚生年金への加入状況を把握しているか。把握している場合はその内容について。また、就労終了後の国民年金への切替状況や加入状況の実態はどうなっているか。</p> <p>④生活指導、日本語教育等、行政コストの増加をどのように捉えているか。</p> <p>⑤国民健康保険加入率、収納状況について、本市全体の状況との比較はどうか。また、外国籍住民に対する生活保護の措置については、法的には対象外とされている中で現在、市は、どのような根拠や運用方針に基づいて対応しているか。</p> <p>⑥外国籍住民による本市の農地、農地以外の土地、建物の取得状</p>	市長

況は把握しているか。また、その不動産取得状況について、国や関係機関と情報を共有する仕組みはあるか。なければ仕組みを作るべきと考えるがいかがか。

⑦経営、管理ビザを取得している外国籍住民の人数及び事業者の事業継続状況を把握しているか。

⑧一部の国では、国内外を問わず、自国民や自国企業に対して、平時及び有事における情報提供や業務協力、資産の提供等を義務付ける法制度が存在するが、こうした外国の法制度が日本国内の外国人に適用された場合の本市や市民への安全保障上の影響についてどのように認識しているか。



受領 令和 8 年 3 月 10 日 午前 10 時 25 分

令和 8 年 3 月 10 日

東かがわ市議会議長

工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 安倍 正典



## 一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
行政運営全般について	<ol style="list-style-type: none"><li>① 市の財政力について、どのように捉えているのか。また、それを踏まえてどのように行政運営を行っているのか。</li><li>② 経費を抑えつつ実効性のある事業実施が望ましいと考える。費用対効果に配慮して事業を行っているのか。</li><li>③ 市の各種計画の策定にあたり、完成までに市長は精査、検証等をどのようにしているのか。</li></ol>	市長
「稼ぐまちづくり」について	<ol style="list-style-type: none"><li>① これまでも、公共施設をはじめ市の資源を活用することによって「稼ぐ」方法があったと思うが、こうした「稼ぐ」視点でのまちづくりはなされてきたのか。</li><li>② 「稼ぐまちづくり」の実現は市民の理解や協力が不可欠と考えるが、市民にどのように関わってもらえるのか。</li><li>③ 将来的には、市民が主体となって「稼ぐまちづくり」に取り組めるような仕組みを構築してはと考えるがどうか。</li></ol>	市長
自治会活動助成金について	<ol style="list-style-type: none"><li>① 令和 7 年 6 月定例会の一般質問で、私は今後の補助金のあり方について質問したが、その際、今後の支援について検討していくとの答弁であった。その後どのように検討しているのか。</li><li>② 活動のない自治会も多数あると考えるが、活動実績による助成に制度を変更してはどうか。</li></ol>	市長



受領 令和 8 年 3 月 10 日 午前 10 時 40 分

令和 8 年 3 月 10 日

東かがわ市議会議長  
工藤正和 殿

東かがわ市議会議員 渡邊 堅次



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
次回の瀬戸内国際芸術祭に向けた取組について	<p>2年後の瀬戸内国際芸術祭開催に向けて、本市は来年度も笠屋邸改修などに約5,700万円を計上している。また、今年度はすでに約5,000万円を笠屋邸用地買収や改修に予算執行している。そこで、以下について市長の見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 来年度の笠屋邸改修費用の内訳は。</li><li>2) 笠屋邸改修の工事入札や施工管理などの方法は。</li><li>3) 令和9年度以降に計画している改修はあるか。また、改修を予定している場合、その費用の内訳は。</li><li>4) 瀬戸内国際芸術祭後の将来的な笠屋邸全体の維持管理及び修繕などの方法は。</li><li>5) 笠屋邸及び手袋ギャラリーの運営について、夏会期終了後は、市実行委員会が入館料などで運営していると聞いているが、今後の入館料、運営費の見込み及びその委託先は。</li><li>6) 今回の瀬戸内国際芸術祭夏会期における本市の経済効果は。</li><li>7) 次回の瀬戸内国際芸術祭の作品内容、会期中及び会期後の運営方法は。</li></ol>	市長
公用車への市名と広告の掲載について	<p>公用車への広告の掲載は、自治体が保有する資産を有効活用し、自主財源を確保する手法として、多くの自治体で検討、導入されている。また、公用車に市名を掲載することは、公用車としての信頼性の醸成、職員の安全運転意識の促進、行政の認知度向上や市民への効果的なPRなどが期待される。</p> <p>そこで、公用車への市名と広告の掲載について、市長の見解を伺う。</p>	市長